



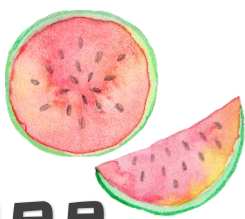
公益財団法人
仙台ひと・まち交流財団



荒町市民センターだより 第368号

2026

8月号



8月の休館日

3日(月) 10日(月)
12日(水) 17日(月)
24日(月) 31日(月)

〒984-0073

仙台市若林区荒町 86-2

電話:266-3790

FAX:266-5436

受付時間:9:00~21:00

<https://www.sendai-shimincenter.jp>



◆講座のご案内◆

おとなのホッと Time③

～心静かに過ごす

写経のひととき～

お経をゆっくり丁寧に書き写し、日常のストレスから

解放され、ゆったりとした時間を過ごしてみましよう。

日 時: 8月21日(金) 18時~20時

会 場: 荒町市民センター第3会議室

対 象: どなたでも 20名(先着)

講 師: 書道家 美雲 氏

持ち物: 筆ペン(黒)もしくはサインペン(黒)
水分補給用の飲み物

申込み: 電話もしくは窓口(266-3790)

申込み受付中



連続講座

本がつなが新しい出会い

～読書の楽しみを広げよう～



おすすめの本を語り合い、講師のおすすめ本も紹介

日 時: 8/28、9/11、9/25(各金) 18時~20時

対 象: どなたでも 20名(先着順) 参加費: 無料

講 師: 若林図書館職員

申込み: 7月28日(火) 10時~

電話または窓口 022-266-3790

初回時に、自分のおすすめ本を1冊お持ちください。

◆地域情報◆

毘沙門
天王祭

8月1日(土)
・2日(日)

両日とも神楽や
フリーマーケット
などあります



1日目

おみこしに 荒町芸能祭!

2日目 夜に豪華景品が当たる大抽選会!

詳しくは毘沙門天王祭典委員会へ

☎022-222-8710

荒町
商店街
七夕まつり

8月6日(木)
~8日(土)

今年のテーマは
「平和な世界へ」

荒町商店街振興組合の主催で
七夕まつりが開催されます。
見事な飾りが商店街を彩ります。

※「」は主催講座です

あらまちギャラリー

荒町市民センター1階廊下

中村哲医師

写真展

アフガニスタンの
荒野に用水路を拓く
活動の記録

7/30(木)~

8/20(木)

駐車場は7台(思いやり駐車場1台含)です。できるだけ公共交通機関(地下鉄・バス)をご利用ください。

◆◆講座レポート◆◆

あらまち町民大学シルバーセミナー②

～ボッチャ体験会～

6/17（水）多目的ホールにて仙台ボッチャ協会の横田昌宏氏を講師に開催しました。昨年も開催しましたが、今年度初めての方も多く参加し、チームで交流しながら楽しくゲームをしました。“難しかったが、ルールを少し理解できて楽しかった”“来年もまた、やりたい”等の感想が寄せられました。



伝統の仙台七夕飾りをつくろう

1 回目は 6/25（木）にピロティに飾るミニ吹き流しを飾りました。今年も可愛い吹き流しがたくさん飾られています。見にいらしてください。



2 回目は荒町商店街の七夕祭りに飾る飾りを作り始めました。今年のテーマは「平和な世界へ」です。素敵な飾りになりますように。



地域での活動の報告です。

元気広場にお花を植えました！（6月17日）

荒町の通りに入ってすぐのところにある「元気広場」。そこは明治の頃の海軍中将齋藤七五郎さんの



生家でした。昨年、紙芝居を作ったプロジェクトメンバーが、荒町のために寄贈されたことに思いを馳せながら、今年もお花を植えました。お楽しみください。

荒町と相撲①

～仙臺郷土の相撲の歴史と郷土力士の群像～

6/20（土）東北文化学園大学 特任教授 渡邊洋一氏を講師に招き、相撲の歴史や仙台で行われていた相撲興行について話していただきました。荒町は奥州街道から城下へ入り最初の繁華街で更に、お譜代町ということで、毘沙門堂で相撲興行が行われたそうです。参加された方々より、「相撲の歴史や昔の人々の生活も垣間見ることができて面白かったです。」「相撲についてたくさんの知識を得ることができて良かった。」等の感想が寄せられました。



荒町の四季②

荒町公園あじさい剪定会

7/10（金）講師に荒町商店街の生花店「フラワー＆グリーンマルソー」から伊藤悠香氏を講師に迎え、荒町公園であじさい剪定会を行いました。

剪定の仕方を説明していただいた後、早速剪定を行いその後、自宅での管理方法や挿し木の仕方を教えていただきました。公園を彩っていたあじさいも参加された皆さんによりキレイに剪定され、来年も見事な花を咲かせ、皆さんの目を楽しませてくれるでしょう。



回文うちわを荒町小学校で作りました！

7/2（木）荒町地域の方々が、荒町小学校 3 年生の回文うちわづくりの授業のお手伝いをしました。回文は最初から読んでも最後から読んでも同じ読み方になります。昔、荒町に細屋勘左衛門という回文師がいて、回文うちわで町民を楽しませたことから始まりました。地域の方が回文うちわの歴史として細屋勘左衛門の紙芝居を読んだ後に班ごとに地域の方々が入り、小学生の回文うちわづくりをサポートしました。

